

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

<p>達人 名</p>	<p>雷門 幸福 先生 ( 落語の達人 )</p>
<p>実施 校</p>	<p>西尾市立福地南部小学校</p>
<p>実施日・時間</p>	<p>平成20年6月26日(木曜日)</p>
<p>実施学級</p>	<p>6年 対象人数 55人</p>
<p>授業の実際</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 担任による達人の紹介。</li> <li>2 達人の芸に触れる。 幸福さんによる「寿限無」を達人が工夫しているところを考えながら聴く。</li> <li>3 達人の工夫しているところやすごいと思ったところを発表して話し合う。(幸福さんの解説つき) <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人で何役もやって、登場人物になりきって語っている。</li> <li>・声色や仕草で役を演じている。</li> <li>・最近の話題も話の中に入れて、聞く人をひきつけている。</li> <li>・身振り手振りをつけたり、口調を変えたりしている。</li> <li>・大事なことは、「せりふ」「表情」「所作」である。</li> </ul> </li> <li>4 落語の所作を演じる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・幸福さんに扇子や手ぬぐいを使った所作の見本を見せてもらう。</li> <li>・グループに分かれて、所作の練習をする。幸福さんには、グループをまわってアドバイスをしてもらう。</li> <li>・何人かが高座で発表する。</li> </ul> </li> <li>5 達人に質問をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ落語家になったのか。小学校のときの夢は何か。</li> <li>・覚えるのに、どれくらいかかるのか。</li> <li>・練習の仕方は、どうするのか。</li> <li>・この仕事で、大変なことは何か。</li> </ul> </li> </ol> <div data-bbox="1034 757 1390 1016" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1034 1039 1390 1299" data-label="Image"> </div>
<p>児童生徒の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落語で大切なことは、「せりふ」「表情」「所作」だと分かった。</li> <li>・初めて落語を生で見たので、すごく楽しかった。所作も教えてもらえたので、今取り組んでいる「落語」のお手本になった。今日の学習を生かしていきたい。</li> <li>・扇子ひとつで、本当にそばを食べている様子が目にうかんできた。達人の技は素晴らしいと思った。</li> <li>・わたしたちが知らないことを分かりやすくていねいに教えてくださったので、とてもよく分かりおどろいた。</li> <li>・「自分は落語が好きだから、落語を行っているんです」という言葉が心に残った。</li> </ul>
<p>教師の感想</p>	<p>今回の授業の流れは、大変よかった。初めに子どもたちのよく知っている「寿限無」の落語を語っていただいたので、興味関心を持って取り組むことができた。また、達人にグループになっての所作の練習のときに、各グループをまわっていただき、各個人にアドバイスをしていただいたことが子どもたちの心に残った。落語についての基本知識も学ぶことができた。最後は達人への質問にも、ていねいに答えてくださった。好きなことを仕事にしているという幸せを語っていただいて、達人の生き方にふれることができ、子どもたちに夢を持たせることができた。</p>